



TAIHEIYO CEMENT NEWS LETTER

2010年2月5日

2010年度のセメント価格値上げにつきまして

太平洋セメント株式会社(本社:東京都港区、社長:徳植桂治)は、2010年度の国内セメント価格につきまして、4月1日出荷分より1t当り500円～1,000円の値上げを要請することとしました。

現在弊社では2009年度の国内セメント需要を4,266万tと見込んでいます。これは、1967年度(昭和42年度)の国内セメント需要に近い水準となっております。更に、2010年度は、国の公共事業関係費が当初予算ベースで対前年比▲18.3%(2009年度は補正予算の影響で公共事業関係費が増額されており、増額後の比較では▲30.4%と大幅な減少)で、民間設備投資および民間住宅投資も回復には時間がかかると思われるため、需要は4,000万tを切る水準まで落ちる可能性があります。このため2010年度も引き続き極めて厳しい事業環境が続くものと予想しております。

このような状況下、弊社としては、先に公表しているとおり、「例外なき事業構造改革」に取り組むこととしております。国内セメント需要減に対しては、こうした抜本的な構造改革・コスト削減策により対応いたしますが、セメントおよび固化材の価格につきましては、当社が企業として存続していくための設備の維持更新費用や、将来に向けての投資を確保できるだけの水準に至っておりません。

また、一部の低採算価格是正および地域間格差の是正についても、引き続き取り組む必要があります。

こうした状況を勘案し、2010年度のセメント価格につきましては、4月1日出荷分より500円～1,000円/tの値上げをお願いさせていただくこととなりました。

なお、今後、地球環境対策に伴う大幅なコストアップや、エネルギーコストや為替が急変する等の事態も想定されます。これは個別企業での自助努力を超えるもので製品価格に転嫁せざるを得ないものですが、セメント市場も製品市場も、需給構造等の問題があり、これを円滑にできる構造となっております。当社としては、値上げと併せて、この問題の改善に、更に一層努力を傾注いたします。

<本件に関するお問合せ先>

太平洋セメント株式会社 総務部 I R 広報グループ

TEL 03-5531-7334

FAX 03-5531-7551